

シソウしそろう イツカン

エイゾウ

はじめに

このホンは、わたしのズイヒツサクのイツサクめから、サンサクめのなかから、トクにいたいたいということをぬきだし、まとめたものである。したがって、イツサクめから、サンサクめをよまれたかたには、なんのめあたらしきもない。つまり、まだわたしのズイヒツをよんだことのないベツのかたむけである。ただこれをヘンシユウして、そんなことをかんがえていたのか、などとジブンでもサイハツケンがあつた。このサイハツケンをもとにいくらかブンシヨウをかくであろう。わたしとしては、そのように、やくにたつしごとであつた。このホンがドクシヤのなんらかのやくにたてばさいわいである。

ニセンニジユウネンサンガツツイタチ

イチ、『アルクカラ カンガエル』ゴ

ジハンキは、このサンジュウネンで かなりふえたが、なつにつめたいのみのもの、ふゆにあたたかいのみのしかうってなかったりする。ふゆでも、アイスコーヒーをそういうことでない。ジョウオンのもが なかったり ということだ。

ショウテンに たまにあるが コウバイのむずかしさを かんがえると、「あなたは あたたかいコーヒーを のむべきだ」とケツロンされるかも。そのくらい「ジョウオン」の のみのものを コウバイするのはむずかしい。

しょうがなく、あたたかいのみのもの と つめたいのみのものをまぜて いいオンドに させたり することになる。ま、ゼイタクといえ ば ゼイタクだが、ネンリヨウのムダづかい というきがする。

なぜ、ジョウオンでは いけないのかと。ま、あつたかくて、うれしいときもあるのだが。たぶん、「センシンコク」として、ゆめのような サービスをしなければならぬのだろう。ま、テキリヨウずつ まぜあわせれば、テキオンの のみのものができる。バイリヨウ コウニ ユウすることになるが。そうか、ショウバイだ。

二、『ア』ロク

はながさくジキさかないジキがある。イツコシユルイのことをいつているのだが。でも、ま、はなのツゴウなんだろう。さくジキがまちまちだったりする。ま、かんがえてみれば、いまはふゆだといっても、みなみハンキュウのホウではなつだったり。ダイタンに言えば、どこかははるで、どこかはふゆだから、あのはなははるにさくといってもゴサがでるんだらう。

キヨネンにわでさいたはなもよかったが、ことしのもよかった。とりもよい。ナナネンまえは、むくどりのすをみてたり。そういえばキヨネンのはる、むくどりきていたかな。アングアイキヨネンのはるははとをよくみた。シゼンがおしえてくれるっていうのがあるかな。ノウサギヨウをやるようになってからそうおもう。

サン、『ア』ハチ

おとしゆずのきがのびていたので、ていれをしようとおもったら、おふくろがさきに

だれかにきらせてしまった。ケツカとげができた。ばらもこうやってとげができたのかとナツトクした。のぼらにはげんにとげがない。とげがあるのもあるかもしれないが。その「いかり」はイチネンほどではしずまらなかつた。ニネンハンほどたつたがまだのこっている。

ヨン、『ア』キユウ

「き」でまけたら、やつぱりまけになる。ここでの「き」は、まけんき などの「き」である。ウンドウキヨウギなどでのことだ。わたしはタツキユウでそれをかんじたが、ソウゾウというのもダイジなんだろう。かつソウテイでキヨウギをする。まけキチヨウ（チヨウシ）になつてもねばつてかちキチヨウをとりもどすと。ニセンジユウサンネンにもそうおもつたが、キヨネンもそう。アンガイ ニンゲンカンケイもそうかもしれない。

ダブリユハイ（セカイタイカイ）がロクガツにあつたが、それもおなじ。やわらかいたまをけるのではなく、モクザイをけるとかタンレンにはいろいろある。

ゴ、『ア』ニジユウニ

わたしはなにかをタッセイすると マンゾクをおぼえたりする。いったことをやるというのはわりとよくあることだ。でも、チュウガツコウで いった エイゴのモンクは いまだにタッセイしてなかったり。「アイ プレイ テニス」なんかはその テンケイである。「アイ プレイ ギター」はタッセイしたが たまうちのホウは、タツキユウ（テーブル テニス）は やったりするものの、タッセイはされていなしとみるべきでは。

だから そういう エイゴキョウイクを カイゼンしたホウが よいとおもう。「どうせ、うそ だろ」じゃ しょうがないのである。いつか たまうちを タッセイしようとおもっている。 ころいうわけで ニホンの エイゴキョウイクは コクサイテキに サイテイとされているよう だ。

ロク、『ア』ニジユウゴ

さきに、みつつのしごとができるじゃ あまいとかいた。ゲンザイは よつつのサギヨウが

できるデンサンキがあり、また、ニンゲンもよっつのしごとをできるぐらいがジユウキユウセイキのエイコクノキホンだったようだ。たしかによっつのしごとはできなくない。しかし、よっつのサギヨウができるデンサンキに、ぼううで（ロボットアーム）をつけたら、ニンゲンのロウドウシヤがシツギヨウしかねない。だってユウシユウなんだから。ガッコウでまなぶジヨウホウもちいさいキロクブヒンにおさまってしまうし。

じゃあどうすればいいかというと、やっつのしごとをすればいいんだらうと。「デンサンキをこわせ」じゃ「またか」になってしまう。センジユカンノンのえがうかぶ。かしこいひとは、デンサンキからまなんでいるんでしようね。

シチ、『ア』ニジユウハチ

きられてきずついたゆず（●サン、『アルクカラカンガエル「イカ、『ア』』ハチ）。イチネンたつて、ちよつとだけみがとれそうだった。それをわすれてセンテイしてしまい、そのちよつとだけのちいさいままのしゅうかくのみとなった。でもにおいはするしほんものである。

それをみずにいれて、そのみずをのんだ。うまい。ラムネとかレモネードとかいうけどそういうことだ。「ラムネ」はライムを、「レモネード」はレモンを。ゆずだからゆずすいしとく。あとからあじつけをしてもいいがそのままがうまいかな。ゆずブロもいいですが、ネンカンとおしてのめる ゆずすいもいと。ま、シハンのもできますが。

ハチ、『ア』ニジユウキユウ

きというのは、ホンライテキに、したのホウのみきが ロシユツしているのかと。しっかりカイソウテキになったきは みごとだが、ニンゲンが てをつけてしまつて、したのホウが ロシユツするのではとおもう。だからうえのホウにハンモすると。もし、ニンゲンが てをつけたとすれば、なぜはしごをつかわなきや みがとれないかたちにするんだろう。はしごやの サクボウか、つておもう。でもかうホウも わるいんだな。

キユウ、『ア』サンジユウサン

ニクとニクじる、どっちがダイジなのかと。やつぱりかたちというか シツリヨウのおおきいホウがダイジなんだろう。なにしろニクだから。だからといってニクじるもすてがたい。でも、かつおだしとかで、ニクのホウをダイジにしなかつたから（ほかのリユウがあるにせよ）ニホンジンはタイカクがちいさかつたんだらう。いまはカイゼンチュウか。ヘンにニクのおづらみをありがたがつたりしているみたいだけど。わたしはしもふりよりあかみハです。

ジュウ、『ア』ヨンジュウサン

ノウギヨウをやつて、Laissez Faire（ジュウホウニン）がダイジなんだとおもう。そりやそれぞれのジジヨウがあるし。ダイコンなんかもほうつておいたら たねができて、しつかりそだっています。へんにてをくわえないというか。

ジュウイチ、『ア』ヨンジュウゴ

おとなのフットボールとは、どんなものか。あいてのゴールに、「ゾウトウヒン」、さけとか、ハムとか、ゴミとかをうちこむ。ゴミじゃないホウがいい。でも、セイキュウシヨがとんできたら、ッシシなくてはいけない。ニホンのセンシユが、ハイタイして、イチネンハンたとうとしているが、もうつぎの、ヨセンをやっている。ただ、シヨミンにとって、ダイジなのは、おとなのフットボールだ。

ジュウニ、『ア』ヨンジュウハチ

なぜ「ベッド」なのか、ねるのにつかうのです。ふとんでもいいはずだが。よつあしだったり、むつあしだったり。よつあしつて、うしとかの、うえでねる「え」ですわ（●『ア』シチ）。おれは、そんなにできたひとじゃない。となれば、おりのしかない。ふとんで、ジュウブンと。セイヨウテキなというか、シハイによって、カノウになるんですかね。ベツに、キリストキョウトじゃないから、たたみにねないのです。ゲンダイの「ふみえ」かもしれませぬ。いすもそうですね。やつぱり、ザブトンですか。

ジユウサン、『ア』ゴジユウヨン

フンをうみにながせば、うみに シゲンといふかがたまる。ハイセツブツ といつたつて、こしたあとの ショクブツ、ドウブツセイブンだから。ま、それをうみにながしていると。ま、すくなくとも かわにはながしている。だからうみにも みたいなのが ハッセイしたりするんだらう。

むかしみたいにはたけにまけば、わりとちかいところで ジュンカンする。でも スイセンベンジヨはやめにくいんだらう。ショクブツだけなら はたけとジブンとで ジュンカンするだけだ。ムダがないから ヒリヨウも そんなにいらんだらう。

ジユウヨン、『ア』ゴジユウロク

マージャン。「すごい」マージャンは、ニハンであがったら、ふたさらりヨウリがでてくる。ゴハンだったらゴさら。すごいリヨウリニンは、つぎに なんさらであがるかを ヨソクして、あがるまえにジユンビ。あがったら すかさずだす。

そういうマージャンがあつたのかはフメイですが。

ジュウゴ、『ア』ゴジュウシチ

むくどりにすをテイキヨウしたことがある。あまどのシユウノウバにむくどりがすをつくつたのだ。しばらくすると、ひながくちをあけてなくようになった。つがいのカタホウがすのちかくでケイカイしていた。すをのぞくとうるさくないた。ビスケットかなんかをさしいれしたがたべただろうか。ま、いいものをみつけてくるんだらうな。どうもおふくろがいやがるようで、ニカイめはソシされてしまった。

ジュウロク、『ア』ゴジュウハチ

わりとサイキンとりにえさをやっている。なんかはらをすかしているようなそんなきがしてあげている。まえはちよつといたところにとりや（はとにえさやっている）というかがあつたが、みせをしめてしまったようだ。ま、ふゆだとシヨクリヨウがすくないの

だろぅから ケツコウたべていたな。

ジュウシチ、『ア』ロクジュウイチ

サイキン、ユニウのもの、スパゲッティとかうっているけど やっぱり ほんものはすごい。こむぎの あじだけでなく、こうばしいフレーバーとかがあったり。やっぱり すごいのはちがうとおもってしまう。それに、スパゲッティの すごいところは、みずでゆでられるんです。おゆ、じゃなくて、ジヨウオンスイ。ちよつとジカンがかかりますが、ケイサンすればダイジョウブ。ネンリヨウがなくてもたべられる。だから、ヒジョウヨウにもいいでしょう。イツカイ、そばも ジヨウオンでゆでたら ぐちやぐちやに。ま、あがり が はやいのでしょうか。ケイサンですね。ヒジョウヨウに ためておくことにしようとおもいます。

ジュウハチ、『ア』ロクジュウサン

ちよつとまえに よくたべたおカシは、いもガシとまめ。ソボクでいいとたべていたがサ

イキンは あじつけのこいものを ケツコウたべている。まめは、ダイズをいったものだが、たべすぎなくていいとおもう。こめを あげたものもいいな。たべすぎない。コクサンヒンもあるし。サイキン ラツカセイなんか チュウゴクサンばかり。ガイコクサンをたべるのなら そのくにのひとと なかよくしなければならぬ。スイメンカというかで カットウがおこりますから。テイテイピーをすすめると やっぱりそういうモンダイも。ゴジュウゴネン タイセイ(ジミンセイケンによる)は ガツシユウコクと なかよくしておけばだったけど まあ、いろんなところと コウエキをすると なかなかむずかしそうですね。やっぱり ジミント ウタイセイのホウが わかりやすいかな。ま、コクサンに がんばってもらいたいです。

ジュウキュウ、『ア』ロクジュウヨン

ニクマンはおいしい。シヨカツ(チュウゴクの カンのジダイに カツヤクしたときれる) センセイをおもいだすが、そのシヨカツセンセイが つくったセイヒンが ニセンネンちかく たつても のこっている。ニクをいれた マンジユウというやつである。

ただ、シヨカツセンセイは シツパイをしたとおもう。なぜなら、ジブンにできないことを

カン（おなじく）シヨウグンにヨウキユウしたことだ。だからケツキヨク あまりいいホウにいかなかった。もっとシヨウグンをおくればよかつたのかもしれない。

ニジユウ、『ア』ロクジユウゴ

マルクスはなにをのこしたか。キョウサンシユギコクとだれかがいうかもしれないが、わたしにとってはそうでない。いや、それもあるけどだ。ケツキヨク、シホンカがつよいのはしょうがない。ロウドウシヤははたらいてかねをてにする。だったら、ウンドウするジカンをけずってかねをてにしたほうがよいのではないかと。つまり、はやいものがちだと。だから、すぐにやらなければならない。

たしかにウンドウをしてタシヨウチンギンはあがるかもしれないが、そのためについやすジカンは、そのジカンはたらいでいたらどのくらいかせげたかをかんがえらとどうなのかと。ケツキヨクシホンカがはらつたりするんだらうけどそのキギヨウはシキンテキによわる。それはロウドウシヤにとってどうなのか。ソレンのようにセイコウした、する、かもしれないが、キョウソウではうまくなかつた。いいコウエキができないとなれば、その、

シホンカ、キギヨウはよわっていく。それだったら、すぐにしごとをしろと。そういう、マルクスのキョウクンはいかしたい。

キョクロンすると、ハンセイするまもないのだ。だから、コンサルタントなんだ。コンサルタントになりたきやケンキュウするといい。でも、ゲンバがダイジじゃないかと。それに、そのしごとのセンクシャもいる。レキシのケンキュウをしているようじゃニリュウだと。シュウエキをあげられるんならいいですが。

ニジュウイチ、『ア』ナナジュウシチ

こししばらくかわらないが、「セイギ」っていうのがむずかしい。だれかがそれをシュチヨウしても、いや、こちらが「セイギ」つてはなしになるから、それじゃしごとをするかとかになったり。「テロ」もそうだ。グンをだすのもそう(テロ)だろとか。しようがないからリヨウイキにわけて、「セイギ」をイジするのかな。「セイギ」というオウミたいなのをたて、それぞれやっていこうとするわけかな。でも、カクダイしようとしたらたたかくなるね。

でも、うみにでで、コウカイジヨウで「セイギ」をシユチヨウできそうだ。カイゾクとかいわれるだろうけど。そのジャクテンは、シヨクリヨウ。つくればだけど、どっかからかわなきやならない。だからむずかしそうだ。イツパツあたればしずんじやうし。それが「セイギ」としたら もろい。だから、フツウは、「セイギ」のジユンドをひくめて、タイキユウセイをあげるのかな。うみじやなくてもシヨウトツすれば、しんじやったりするわけだから。

ニジユウニ、『ア』ナナジユウハチ

ニホンジンがドリヨクしたからセンゴフツコウなのか、ガツシユウコクのドリヨクでセンゴフツコウなのかわからない。どちらもあったんだろうが。でも、センソウにかんするつみぶかさがあれば、それなりのやりかたをするだろう。ニホンジンがセンソウにカンするつみぶかさをヒヨウゲンしているのにはであつたことない。あまり、そういうゲンバをしないからか。やつぱり、セイカツがアンテイしてくると、「イシヨクたつてエイジヨクをしろ。」というようにレイがダイジかもしれない。イレイもダイジだがほかにもダイジなこ

とはある。センソウでのヒガイを ベンショウしたり。でも、そういうのはやはり コジンでやるべきなんだろう。センソウに カタンしたんだらうから。サンカしないことも できたはずだ。たしかに キョウセイセイは あつたとおもう。でも キョヒすることは できた。おおきくくくればだけど、ベツにくくらなくてもいい。コジンの シュウゴウが シャカイなんだから。いまみても そういうあぶなさは あるとおもう。でも、センソウ、わたしにいわせれば 「わるい」 センソウだ。ヘイがにげられないんだから。そのハンセイをいかすなら、そういう キョクメンでも キョヒすることが ダイジなんだろう。センゴク のとき みたいだったら しょうがないメンもあるが。

ニジユウサン、『ア』ハチジユウ

エイキョウリョクのあるひとが、やすくて いいものを たべていたら、まねとかして その やすくて いい ショクリョウは タイリョウに ショウヒされるかもしれない。

だから、たべものを ショウカイする テレビばんぐみでは、ジュウヨウな ショクリョウでなく、チュウカメンとか パン とかを シュザイするんだらうとおもってしまう。ヨウする

に、チュウカメンとかパンはしなぎれしてもいいと、シュザイするひとはかんがえているが、タブン、やきニクはしなぎれしてはまずいとおもっているのでは。

そういえば、ナナジユウネンイジヨウまえのセンソウは、ニホンジンがギユウニクをたべはじめたからタイヘンだったという「すきやきセンソウ」ともいえるかもしれない。カチクをきりくずすっていうのはシヨミンにとつてのセンソウである。さかなくつてりやいのにおもってしまう。そういうセンソウがおこつてはたまらない。だからといってまったくニクをたべないのは、むずかしい。でも、そういう、ううしいとか、うまいはモンダイだ。うしはノウギョウとか、うまはイドウとかにやくにたつ。だから、「ぎよい(しい)」がいいか。

ニジユウヨン、『ア』キユウジユウ

フクがやぶれたのでなおす。でもそれは「シンカ」か。なおったらまあ「イジ」なのかもしれないが、かんがえかたによつては「シンカ」とかんがえられる。ブヒンコウカンなら「シンカ」じゃないんだろう。でも、つくるサイシヨのダンカイでジヨウブになっているな

ら「シンカ」させなくてもすむかもしれない。でも、やはりレッカしていくんだろう。マルクスのキョウケン（●ニジュウ、『ア』ロクジュウゴ）からいうとはやくなおせだ。なおせるとはかぎらないが、なおしたホウがいいだろう。そのホウがジョウブだろうし、ごみもない。

ニジュウゴ、『ア』キョウジュウニ

やきニクというのはいいセンタクシである。しかし、なにをたべたらいいかというのがベンキョウブソクであれば、つきものである。だつたらと、わたしはステーキをえらぶ。あかみだけのホウがいい。よくかんがえれば、それがわたしをつくったといえなくない、ちいさいころ、たべにつれていって、もらったからだ。たしかに、やきニクをたべにいき、ノウミソというセンタクシがあれば、ベンキョウもできるようになったかもしれない。だが、ザンネンながら、そういうセンタクをしなかったし、そんなものだとはしらなかった。だから、ウンドウがよくできたというわけ。ガツシユウコクジンとたまけりやっても、あたりまけはしなかった。

ただ、こどもとたまけりして、ちよろちよろやられるとまけてしまうというケイケンがあるので、かならずしも、その、ジユウセンシヤ、ホウシキをスイシヨウはできない。ジユウセンシヤでもキドウリヨクがあれば、ちよろちよろにまけないだろうか。ニクをたべて、さらにはしりこみだろうか。

ニジユウロク、『ア』キユウジユウサン

からだをおおきくする というのでは、ハンバーガーというセンタクシもある。でも、ハンバーガーをたべてユウメイなセンシユとかつているんだろうか。はじめてたべたのがヨウチエンのとき、かみセイの テツドウレッシヤの モケイがついてきていたくカンシンした。サイキンはそれが マンガのキャラクターのしなものにかわっているようだが。ゲンジツより ゲンソウということだろうか。ある おおてハンバーガーショップはブンカテキだとおもう。わたしはニホンのマンガセイヒンより、ガツシユウコクの レッシヤモケイのホウがいい。でも、そのかたのレッシヤはむかしのなので、いまもジツサイのテツドウにてはしっているわけではないとおもう。そういえば、それからジユウゴネンくらいで、ガツシユ

ウコクの にしカイガンのテーマパークで、そのでのミニチュアレッツシャにのった。トウキョウにある（これはちがうといえ、チバにあるからちがうのだが）ガツシユウコクでキカクされたテーマパークにもおなじようなものが あったとおもう。そちのホウをさきにのったかもしれない。ガツシユウコクのテーマパークでは、そのえだかシャシン（サンジユウメートル かけるジユウメートルくらいあっただろうか）、にえらくカンシンした。

ニジユウシチ、『ア』キユウジユウハチ

「シャザイガイコウ」がなぜモンダイか。センキユウヒヤクヨンジユウネンごろのセンソウは、あまりいいセンソウではなかった。よく、「タイシヨウがうちとられて、ヘイがカイソウした。」といういくさについての キジュツがあるが、そういった、カイソウ（ヨウするに「にげる」だ）が しにくいセンソウだったからだ（●ニジユウニ、『ア』ナナジユウハチ）。ヘイは トウゼン キユウヨをしはらってもらいたいし、タイシヨウがうちとられたら、キユウヨが みばらいになる カノウセイがあるから、にげる。しかし、カイガイで、もしくは、カイジヨウで、センソウしていると、しらないトチや うみだから にげにくい。だからよ

くないセンソウという。タブン、ホンドケツセンというのはヘイがにげるだろうからむずかしかつたんだらうとおもう。センソウはセンソウでかちまけがあるわけだから、それはガイコウでどうにかすればよい。「シャザイ」すべきはヘイのホウにで、よくないセンソウをしたことについてあやまればよい。ベツにグンのナイキなどについてはガイコクにあやまることではない。あやまるあいてがちがいますよと。

ただ、そういう、ゴカイのゴカイがガイコウにエイキヨウをおよぼしているともおもう。ま、ヘイにあやまったのならガイコウすればともおもう。だれのかんがえはともかく「シャザイ」、ガイコウ、なんだから（「シャザイ」してガイコウすればよい）。そのカンテンからいうと、ガイコウがすすまないことがヨソウされるがそれなりのたちばのひとがいわないと いけないんだらう。

ニジユウハチ、『ア』ヒヤクヨン

チツジョとブンカどつちがダイジだ。サンわりのブンカとナナわりのチツジョでどうだらう。それくらいだとチヨウドキンムビとキユウジツテイドのわりあい。でもキユウジツ

をブンカにつかっているってあまりきかないけど。やくわりでわけてしまうとサンワリのブンカジンになるんだろうか。でも、ヒセイサンジンコウもだから、ニホンでいうとサンゼンロッパクマンニン。これだけのかずだと、ブンカジンっていつてもちよつとわからない。かくれたブンカジンがケツコウいるとか。ただ、あまりにブンカテキナ、シヤレた、キカイとかがふえちやこまるとおもってしまう。

サンわりがた エラーじゃイライラするかな。そうだ、キカイにもキュウジツをあたえればだ。ちよつとチツジヨをふやさないとイライラするかな。ま、ブンカテキナセイヒンをえらばなきやいいのか。ま、ひとでも、チツジヨのあるブブンとブンカテキナブブンというようになんわりとかの わりあいではなくみるのが ありそうではないだろうか。

ニジュウキュウ、『ア』ヒヤクゴ

ジョウホウが おかしいほうが、ものがおかしくなるよりいい。でも、デンサンキ、なんて、デンキとジョウホウでうごくというと、ニンゲンの シンシンのレンカンに になっているかも。でも、おかしいのはジョウホウだと。ものがおかしいなら コウカンして になつてしまう。

ジヨウホウでうごくブンをすくなくすれば、ものとしてはまともになるかもしれない。だから、セイヨウがダイジだったり。

ま、ニホンジンのシヨク、たべること、なんて、むかしからそんなにかわらなかつたんだろうが、メイジにはいつてちよつとかわり、いまもかわりつづけているんだろう。つまり、ニンゲンをコウセイするのに、むかしとちがうブヒンをつかいはじめたということ。だから、ニジュツセイキのセンソウは「すきやき」トウソウだったんだろうっておもう。でも、たしかにそういうギユウニクをきりくずしたりしているからニホンジンはタイカクがよくなつたんだろう。いつまできりくずしつづけるのか、わからないが、まあ、そういうジダイだ。センソウじゃないんだけど、きりくずしつづけるって。ヨーロッパでは、キンダイまえからのながいセンソウでうしをきりくずしたんだろう（●ニジュウサン、『ア』ハチジュウ）。それをヘイジにまねしなくてもいいのにおもう。それで、ノウギヨウにキカイウしとかをつかつてるんじやネンリヨウダイもかかるだろうな。そこにキンダイノウギヨウのよわきがある。

でも、いまシジヨウにまわっている、ギユウニクは、ガツシユウコクセイがおおい。つまり、えらんだりしなければ、ガツシユウコクのセイブンをセツシユすることになる。だか

ら、いつてみると、ギユウニクをたべるとガツシユウコクジンにちかづくことになる。そういうわけだから、ガツシユウコクぎらいなら、ギユウニクをたべるべきではない（ニホンのデントウシユをデントウヨウチクされたギユウニクもあるだろうが）。それは、ケンカになるからだ（ロクジュウサン）。サイアク あなたのからだはセンジョウになる。もつという、あなたが ベイチュウタイリツを しんじるなら、そのどちらでそだてられたニクや ノウサンブツをたべるべきではない。それか、どちらかシジするほうの ニクやノウサクモツをたべればよい。どうせケンカになるのだから。そういう「ジミントウタイシツ（●ジュウハチ、『ア』ロクジュウサン）」をつくってきたのが センゴナジュウネンだ。そのジミントウタイシツをやめられるかといったら なかなかむずかしい。ま、さかなと こめくつてりやなんだけど、ニクをたべてしまったり。だから、ジミントウがタイショウする。でも、シユギテキにドクリツをめぎすのなら つよいシンネンで、ガツシユウコクセイのセイブンをたべなきゃいい。サイキンは、チュウゴクセイもふえたから きをつけないと、ジーツーロン（ガツシユウコクと チュウゴクのツゴウで コクサイシャカイがシンコウするという シュチヨウ）がテシカイしたら、からだのなかに カットウをためこむことになる。だから、イシキテキに、ホントウに キケンかどうかはともかく、セイジシユギテキに チュウゴクセイヒンをたたく。

それがよくいるニホンジンだろう。なぜならジミンシユギを、すくなくとも、やめたくないから。だから、ダイブツシユギテキなひとが、チュウゴクセイのノウサンブツをたべるのはモンダイないが、むずかしい。おおきなワゴウをからだのなかにかかえこむことになる。でも、それはむずかしいカダイだから、わたしはセイヒンをセンタクしようと おもっている。

サンジユウ、『ア』ヒヤクロク

すくなくとも「ジミントウタイシツ（●ニジユウサン、『ア』ハチジユウ、ニジユウニ、『ア』ナナジユウハチ）」でおさえたい。なにしろ、こどものころに、ユウメイハンバーガーテンでハンバーガーをかってたべた。それから、ちよつとあつたが、そういうセンタクをしたのだ。しかたない。でも、ユウメイハンバーガーテンが、うりあげをへらしているときくと、チュウゴクセイのザイリヨウをつかっていたのが、きいているとおもえる。やっぱり、すくなくとも「ジミントウタイシツ」にあわせないと。

ま、ジキュウリツをあげられるようにと、がんばれたらいい。なぜなら、ジキュウリツレイはニホンジンのおわりだからだ。たしかに、コクセキなどのジヨウホウはこのころ。しか

し、ニホンジンっぽいセイブンがないとなるとニホンジンの・・・である。いまのところ、ジミントウがキンコウテンなんだろう。そのリョウウタンもある。ドクリツ、キョウウチヨウと。でも、ゲンジテンでジキュウリツ ヨンジュッパ―セントだから むかしとくらべてニホンジンのかずが ロクわりへっていることになる。まあ、ジンコウが ふえすぎたのかもしれないが。

サンジュウイチ、『ア』ヒヤクキュウ

シャシンをとるときに、なんかいったりすることがある。「チーズ」なんていわれてもおいしそうなおおすればいいのかと。でもサイキンになって、ポーズ（ふたつのドウオンゴ）があり、どちらかはわからないが）といていたのが、シャレというか、テキになって、そういうようになったと。

「バタバタ」するとか「ドキドキ」するっていうのも よみといてみると おもしろい。ゼンシャは、おいしいコケイタイのシヨクヒンと、センソウでつかわれるもので、コウシャは、エイゴの なまりだとおもう。「なつバテ」というのも なつのハウゲキ（タイホウをうつ）

ってことでしょ。だから「しちやった」だったら、「あついののにゴクロウさん」だ。

「バター」か「タイホウ」かってなんのことかとおもっていたら、「バター（ビーユーテイイール）」か「バッテリー（ビーエーテイイールワイ）」かというダジャレだった。ま、ギロンはあつたのでしようけど。そこから、「バタバタ」するになつたのでしよう。

サンジュウニ、『ア』ヒャクジュウゴ

きのうにてがみをおくることをかんがえたり、あしたならジョウケンシダイでタッセイカノウだ。だが、きのうのジブンがいないからとどかないだろうとか。ジカンっていうのはウインドウリヨクなんだとおもう。だからイチ「ロコモーターイブ」ではかれると。そういうのはむかしからで、チキウのカイテンではかっている。そこまで、おおきなウインドウだとなかなか、イチニチすすめるのはタイヘンだが、まあ、イチニチたつだろう。ま、ひかりなにかで、おなじようにかんがえている。

てがみはむずかしいが、デンシジョウホウなら、おくれそう。ジョウホウ、デンキはチ

キユウのウンドウよりはやい。しかしどこにおくるかとおもう。きのうにおくつても、あしたにおくつても、ジュシンソウチがなければうけとれない。

ジカンっていうのがウンドウだとすると、カンゼンにセイシしている なにかではジカンがすすまない。しかし、ザンネンながら そういうなにかは みつけにくいんだろう。ウチユウだったら なにかに ひきつけられたり。うごかないっていうのが フカノウだから、ニンゲンはやがてしぬと。

サンジュウサン、『ア』ヒヤクジュウシチ

ゲンダイシヤカイの モンダイは ノウギヨウセイサンを タンジカンで おわらせて ジカンができたということだ。そのヨカというかを どうすすすか。ホンは むかしからあるが、それをよんで ヨカをすすすではなくて コウギヨウセイサンしようとか。コウギヨウセイサンすれば ゲンダイと にたような セイカツなんだろう。いまは、コウギヨウチュウシンなんだろうか。だから、サンギヨウカクメイって。でもコウギヨウセイヒンは たべられないわけだから。コウギヨウセイヒンを あまりかわなければ むかしつばいセイカツができるんだ

ろう。

サンジユウヨン、『ア』ヒヤクジユウハチ

「モーターリゼーション(ジドウシャシャカイカ)」。くるまがあればいろいろなものがかいにいける。だからくるまをかう。でも、そういうみせにいつてみても、ほしいものはかえなかつたりする。じゃくるまはヒツヨウかとなる。セイカツがかかっているようなひとがくるまをつかう。でいいのでは。アンガイかえないものはおおい。だからエンポウからおくつてもらう。「モーターリゼーション」より「デリバライゼーション(ウンソウシャカイカ)」だ。くるまよりデンサンキにかねかけたホウがいいとおもう。

サンジユウゴ、『ア』ヒヤクニジユウ

サイキン、コウゾウシュギテキというかになつてきた。わかいころは、ゲンバのコウドウをみて、かんがえるとかだったが、いまはコウゾウシュギテキだつたりする。そのシテキする

「コウゾウ」がまとをえていなくても、すくなくともわたしの「シンリコウゾウ」にはある。だからこそ、ゲンバのひとこととしてはいいんだけど、コウゾウにひびきそうなことばはさけたりする。トクになにもないがいいとおもう。もっというところ、しらぬがほとけである。

サンジユウロク、『ア』ヒヤクニジユウロク

いまおもうと、ガツコウっていうのは、まなぶ「なかみ」がダイジなのでなくて、まなぶ「シセイ」をタンレンするばなのだとおもう。ホントウにまなびたいことはそれぞれちがうわけで、そういうのをイッコイッコやってられない。ただ、まなぶ「シセイ」をタンレンしておけば、ジブンでまなぶことができるということだろう。

ただ、「なかみ」をジユウシしてしまうと、あとでわすれたりするてまがかかるようになる。いらぬチシキだったりするからだ。だから、ホントウにヒツヨウそうな、イツカモクだけ、たとえばコクゴとか、まなぶとかでいいんだらうとおもう。

サンジユウシチ、『ア』ヒヤクニジユウシチ

なぜ、かみをちやいろくするのか。タブンそれは、「ジユウ」のあかし、もしくは、「ジユウシユギシヤ」のあかしで、それがニジユウネン、サンジユウネンつづいている。ヘンないかたをすれば「ボウメイ」みたいなもので、いまでもイツテイスウ「ボウメイシヤ」なり「ジユウシユギシヤ」がソンザイする。みてわかるからいいが、サイキンのわかものはそういう トウシヨの こころざしみたいなのをわかつているかギモンだ。なんとなく「ボウメイ」してしまふのだろうか。トウシヨはガツコウでキョウシたちとたたかいながらタツセイしたみなりである。

サンジユウハチ、『ア』ヒヤクニジユウハチ

センシンコクビヨウ(●『ア』サン)とはセンシンコクにおける、トウルイ(きとうなど)のケツボウである。どうしてもみなみにむきがちだ(トウルイがとれるから)。さらに、ネンリヨウももとめたりする。そういうシゲンをめぐって あらそつたり。うまくセツヤクし

ながら やって いけばいいが。

サンジュウキュウ、『ア』ヒヤクサンジュウハチ

サイキンは、かんがえたりするブンを、「あたらしいノウ」、ドウブツテキなブンを、「ふるいノウ」といつている。よのなかには、「サノウ」と「ウノウ」といういいかたがあるようだが、まあ、そうよんでいる。あまり、「あたらしいノウ」がカツパツだと、ねれなかつたりする。そういうときは、「ふるいノウ」をカツセイカさせるように、こころみたり。

ヨンジュウ、『ア』ヒヤクヨンジュウシチ

やっぱり ジュウって ダイジだとおもう。シツパイすることは あるけど、シツパイをくりかえしたくないだろうし。laissez faire (ジュウホウニン) ●ジュウ、『ア』ヨンジュウ(サン)でいいんだと。なにかをえらばせる こともできるが、やっぱり すきなものがすきだつたりするわけで。ジブンで なにができて なにができないかが わかるだろうし。ジブン

のしごとみつかるだろう。ただながしているとジカンをうしなったりする、わたしがそうだった。でもそれもガクシユウだし。

ヨンジュウイチ、『ア』ヒヤクヨンジュウキユウ

ヒヤクネンまえぐらいは、「レンガづくり」のたてものでシツパイして、ヨネンまえぐらいは「ゲンパツ」でシツパイしたのではないだろうか。たしかにいいセイヒンなのだろうが、ジシンにはよわい。また、「シツパイ」したセイヒンをうごかしそうだが。

ヨンジュウニ、『ア』ヒヤクゴジュウサン

マルクスはシホンカによる「サクシユ」があるといったらしい。その「サクシユ」をふせぐために、レントイするのは、タブンソレンのがんばりからもたしかなんだろう。しかし、ロウドウシヤがすぐにでもシホンカになれるかといったらむずかしい。それはそういう、かねをウンヨウするドリヨクとかについて、シホンカのホウがはやくとりくみはじめたか

からだ。だから、シホンカが ロウドウシヤになるのもむずかしい。それは、ロウドウするドリ
ヨクはすでにロウドウしている ロウドウシヤのホウが はやくとりくんでいるからだ。ケッ
キヨク、マルクスとそのエイキヨウがあつたひとたちはなにをしめたかというところ、「はや
くドリヨクしたひと」が ほかの そうでないひとよりもユウリである。ということではな
いだろうか（●ニジュウ、『ア』ロクジュウゴ、ニジュウヨン、『ア』キュウジュウ）。わたし
はそれを マルクスのキヨウクンとよんでいる。

ヨンジュウサン、『ア』ヒヤクゴジュウゴ

なぜ、ニホンジンは エイゴができないといわれるのか、ふたつおもいついたことがある。
ひとつは、ガッコウで「アイプレイギター」とかいカゲンなエイゴをいうようにうな
がされること。「アイプレイギター」ならまだいいが、「アイプレイギター トウデイ」だ
ったら、ホントかよってなる。「おまえギターもってなかつたよな」って。そういううそ
つきエイゴばかりやっているものだから いやになっちゃう。わたしもギターをひくよう
になりましたよ、ならさせられた、かもしれない。ただ「ウエル」かどうかは わかりませ

んが。でもまだ、テニスはやっていません（●ゴ、『ア』ニジュウニ、ロクジュウニ）。やろうとおもっていますけど。うそつきになっちゃうからね。

もうひとつが、よむことを ジュウシすること。どういふことかというところ、ジブンのいいことを ワエイジテンでしらべて、いうのではなく、エイワジテンばかりを リヨウすること をすすめられるということ。たしかに、よむのにかずを こなしていけば、しらべたタンゴを うまくつかって いうことができるのだけど、そのドリヨクは ジュウネンとかかかる。それに よまされるホンが ジブンのカンシンにあつて いるとも かぎらない。でも、うまくつづけると、よむのは できるようになりますね。リヨウを こなす っていうのが、ニホンジンの ゴガク シュウトク ホウ なんです よう。わたしも シンブンよむのに ジュウネン くらい エイワジテンを ひきまくり ましたよ。まあ、いいエイゴの ジュギョウ とは、「わたしは ユウ シュウ な ロウドウ シヤ になります」とか エイゴで いわせる こと かも しれない。

ヨンジュウヨン、『ア』ヒヤクゴジュウロク

「シヨウヒシヤ」といふ こと ば があるが、「ロウドウシヤ」とか「シツギョウシヤ」のし

たに「シヨウヒドレイ」カイキユウがあるようにおもう。わかりやすいレイでいえばアルチュウとか。さけのシヨウヒをやめられず、また、ドをこしてさけをかってシヤツキンつくるとか。ほかのものでもそうだ。そういう「シヨウヒドレイ」カイキユウにはならないようにしたい。シツギヨウシヤはさらにシツギヨウしないが、そういうカイキユウにおちるかもしれない。

ヨンジユウゴ、『ア』ヒヤクゴジユウキユウ

センゴ、ニホンジンは「ジミントウタイシツ（●ジユウハチ、『ア』ロクジユウサン、ニジユウキユウ、『ア』ヒヤクゴ、サンジユウ、『ア』ヒヤクロク）」になっていった。パンシヨクしかり、ギユウニクしかり、オレンジしかり。これらのシヨクリヨウはベイコクサンだから、ヨウするにニホンジンのからだだが、ベイコクサンであるテイドコウセイされるようになったということ。それを「ジミントウタイシツ」という。だから、ソレンががんばっていたレイセンキ、ソレンセイのノウサクモツをたべていたら、ガツシユウコクセイのセイブとカットウをおこしただろうし、チュウゴクが がんばっているとき、チュウゴクセイを

たべれば、やつぱりガッシュウコクセイのセイブんとカットウをおこす。いまはセンタクシがあるから、ニホンセイをたべるのもよいし、ガイコクセイをたべることもできる。しかし、ながねんジミントウタイシツでやってきたことをわすれてはいけない。イジならガッシュウコクセイだ。カットウがありそうなのは、そのチイキでつくられたたべものはひかえたほうがよいとおもう。

ヨンジウロク、『ア』ヒャクロクジウ

なんかのやくについているひとを、「サービスマン」でなくて、「サービスパーソン」というかんがえかたがある。「マン」だとおとこだからおんなにそうよぶのはということ。「パーソン」にするようだ。しかし、それにもモンダイがある。「パーソン」の「ソン」はむすこだからむすめがふくまれないのではないかと。で、「パーパーソン」といつてもずっとモンダイがつづく。だから、「パーチャイルド」ならいいんじゃないかと。でも、「チャイルド」じゃない。しりません、わたしは。

ヨンジユウシチ、『ア』ヒヤクロクジユウイチ

しゃべるはやさがはやいホウがしごとがはかどっているといえないか。セツメイなんかも、しゃべるはやさがニバイなら、ニブンのイチのジカンですみ、ほかのしごとができる。ながいといわれるカイギもサンバイのはやさのしゃべりなら、サンブンのイチのジカンでおわる。それなのになぜガツコウに、ニバイソクコースとかサンバイソクコースがないか。おしえられるひとがいないのかもしれない。

ヨンジユウハチ、『ア』ヒヤクロクジユウニ

「われ おもうゆえに われあり。」というひとがいたらしいが、わたしは「われ あるくゆえに われあり」とおもう。ニンゲン、あるかなかつたら あたらしいハツケンはない。ホンをよんだり、デンブんにふれたりするのも おおきなイミでの「あるく」だ。あたらしいハツケンがないとシコウはほとんど おなじことのくりかえしだろう。だから、シコウをすすめたきや あるきなさいとなる。「あたらしいハツケン」をすれば かんがえるから、デカルト

フウに、われあり、となる。

ヨンジユウキュウ、『ア』ヒヤクロクジュウサン

「ジュウリヨク」というのはそもそもないのだとおもう。じゃあなぜ りんごがきからおちるんだという。それは カイテンの チュウシンに むかうちからだ と セツメイする。チキュウが ジテンしている カイテンジクの チュウシンにむけて うごいたと いえるだろう。それをわたしは「うずまきリヨク」という。しおのうず（うみの）のヨウリヨウだ。そうすると、なぜ チキュウや カセイなどの ワクセイが タイヨウのまわりを まわるか セツメイでできる。つまり うずをまいている ということだ。でも それじゃ ワクセイは タイヨウのホウに イドウして ぶつかるじゃないか というかもしれない。しかし、タイヨウは エネルギ―というか ひかりをはなっている。そのひかりのちから、おもしろいというか、でキヨリをたもてる。だから、タイヨウが エネルギ―をハツしなくなったら、それを「ブラックホール」というかもしれないが、チキュウをはじめ、タイヨウケイの ワクセイは、シダイにヘンカしたタイヨウに ちかづき ショウトツしてしまっだろう。つまり、「りんご」もチキュウ

のジテンにヒツテキするちからがくわればおちない。ただ、それがないだけだ。だから、チキユウのジテンがなくなれば、ひとはチキユウにうくようになるだろう。でも、ニュートンのジダイには、テンドウセツがまだはばをきかせていてそういうことをいいづらかったのだとおもう。だから、ダキヨウとしての、「ジユウリヨク」だったのではないだろうか。もっともわたしはニュートンについてくわしくないので、ジカンがあつたらしらべようとおもうが、ニュートンがどうかんがえたかはセイカクにはわからない。

でも、こうかんがえるようになって、なぜワクセイがカイテンするのかというなぞがとけた。「かみ」のなせるわざだとかかんがえなくてすむようになった。

ゴジユウ、『ア』ヒヤクロクジユウヨン

「あるくゆえにかんがえる（●ヨンジユウハチ、『ア』ヒヤクロクジユウニ）」。ホンをよむのもおおきいイミではそうだ。おなじホンをなんかいもよむのと、よむたびにちがうホンをよむのではケツカがちがってくる。モチロン、おなじホンをよんでもイゼンとちがうカンソウをもつことはあるだろう。しかし、「かんがえる」、「ハツケン」というサギヨウ

からいうと、ちがうホンをよんだほうが、それらはおおくハッセイするだろう。この「ハツケン」なり「かんがえる」を「ノウトウ（あたまがうごく）」するということにする。ノウトウするとシンカするかんじだから、シンカをおさえなければ、サコクとか、セキシヨをもうけたりするのがユウコウだろう。ただそのドがすぎてしまったのがえどジダイだろう。シヨガイコクとさがついてしまった。シンポのないヘイワとはおそろしいものだ（こち
いいようなきもするけど）。だからわたしもノウトウさせている。

シソウしそう イツカン シドクバン
エイゾウ

ニセンニジユウネンサンガツとおか
ニセンニジユウネンゴガツニジユウロクニチ

iii toga b010-s

エイチテイテイピーコロンスラツシユスラツシユアイアイアイテイオージーエーピリオドシ
ーオーエム
テイエスユーエスエイチアイエヌアットマークアイアイアイテイオージーエーピリオドシ
ーオーエム

